



Title	日本語・日本文化 第52号 奥付
Author(s)	
Citation	日本語・日本文化. 2025, 52
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/100664
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

執筆者紹介

中田 一志	本センター教授
岩井 茂樹	本センター教授
五之治昌比呂	本センター教授
小森 万里	本センター教授
柴田 芳成	本センター教授
下村朱有美	本センター特任講師

編集後記

本号には多くの論考が集まり、またその内容も実に多岐にわたるものになりました。

中田論文は、接続詞「そして」の文連結の用法を整理したものになっています。岩井論文（研究論文）は、笑顔写真の定着に大きく寄与した雑誌『ニコニコ』の発刊に関するもので、もう一本の岩井論文（研究ノート）は、芥川龍之介の『手巾』の出典に関する考察です。五之治論文は、夏目漱石の『吾輩は猫である』の材源について再考したものです。小森論文は、文系大学院留学生が日本語で学位論文を執筆する際に経験した困難について論じたものとなっています。柴田論文は、大阪大学総合図書館蔵の奈良絵本『岩屋』の資料紹介です。下村論文は、数学の教科書で使用されている日本語の表現について、その特徴を明確化したものです。

今後も本センターに関わる皆様から、日本語・日本文化に関するさまざまな論考が提出されることを期待するとともに、本誌がより多くの方々に参照されていくことを願っております。

『日本語・日本文化』投稿規定

1. 資格：本センターまたは関係機関所属教員（非常勤を含む）及び『日本語・日本文化』編集委員会において適当と認められた者。
2. 内容：日本語・日本文化等に関する未発表の研究論文・研究ノート・研究報告等。
3. 体裁：研究論文はA4用紙35字×35行20,000字程度（欧文はA4ダブルスペース30行10,000語程度）、研究ノート・研究報告は10,000字程度（欧文は5,000語程度）。
4. 要旨：本文和文の場合、欧文による要旨（A4ダブルスペース1枚）を、欧文の場合は、和文による要旨（800字程度）を添付。
5. 採否：原稿の採否は『日本語・日本文化』編集委員会が決定。

編集委員

岩井 茂樹 藤平 愛美 松浦 幸祐

日本語・日本文化 第52号

2025年3月10日 発行

編 集	大 阪 大 学
発 行	日本語日本文化教育センター
	〒562-8678
	箕面市船場東3-5-10
	電 話 (072) 730-5459
	FAX (072) 730-5074
印 刷	株式会社アイジイ